

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月11日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東  
 コード番号 9363 URL http://www.daiunex.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉野 弘一 (TEL) 06-6532-4101  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,616	△1.8	58	—	68	167.6	68	185.9
27年3月期第1四半期	1,646	6.1	4	△76.9	25	△3.6	23	△3.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第1四半期	1.10		—					
27年3月期第1四半期	0.39		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,992	2,304	38.5
27年3月期	5,856	2,192	37.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 2,304百万円 27年3月期 2,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	6.0	30	—	50	—	40	—	0.64
通期	6,800	2.2	40	150.0	80	23.0	60	△45.5	0.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	62,280,394株	27年3月期	62,280,394株
28年3月期1Q	109,293株	27年3月期	107,933株
28年3月期1Q	62,171,791株	27年3月期1Q	62,178,165株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算の開示時点において、四半期財務情報に関する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、原油価格の低下の影響や政府の経済政策等により、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。しかしながら、地域格差は存在し、海外経済動向など景気の先行き不透明感は払拭できない状況にあります。

当業界におきましては、規制緩和と荷主メーカーの大幅な物流コスト見直しにより低価格化競争が続き、引き続き厳しい環境にあります。

このような状況の中、当社におきましては、取引採算の確保、経費の削減に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)における当社の業績は、円安に苦しむ輸入関係取引を中心に営業収入は伸び悩みましたが、取引採算は回復してまいりました。主な要因として、比較的取引採算の良好な業者を中心に受注が増加したこと、原油価格の低下に伴う燃料コスト低下、経費削減効果、諸引当金の減少等があります。

この結果、当第1四半期累計期間における営業収入は1,616,663千円で、前年同四半期累計期間と比べ30,171千円(1.8%)の減収となりました。しかしながら、営業利益は58,015千円で、前年同四半期累計期間と比べ53,669千円(1,234.7%)の増益、経常利益は68,719千円で、前年同四半期累計期間と比べ43,035千円(167.6%)の増益となりました。また、四半期純利益は68,492千円となり、前年同四半期累計期間と比べ44,535千円(185.9%)の増益となりました。特別利益18,034千円のうち16,280千円は投資有価証券売却益であります。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

## ①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安継続の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものがありました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は1,561,062千円で、前年同四半期累計期間と比べ25,961千円(1.6%)の減収となり、全セグメントの96.6%を占めております。

しかしながら、経費削減等の影響で、セグメント利益(営業利益)は140,562千円で、前年同四半期累計期間と比べ43,620千円(45.0%)の増益となりました。

## ②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、引き続き厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は53,929千円で、前年同四半期累計期間と比べ3,666千円(6.4%)の減収となり、全セグメントの3.3%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は経費削減等が寄与し、6,353千円で、前年同四半期累計期間と比べ4,044千円(前年同四半期累計期間は△10,398千円)の増益となりました。

## ③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と比べ、輸入関連の荷動きが減少したことにより、海上保険収入が伸び悩みました。

この結果、営業収入は1,671千円で、前年同四半期累計期間と比べ543千円(24.5%)の減収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は1,646千円で、前年同四半期累計期間と比べ537千円(24.6%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より91,221千円増加して3,577,267千円となりました。これは現金及び預金の増加147,180千円、立替金の減少45,454千円等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より45,035千円増加して2,401,555千円となりました。これは投資有価証券の増加53,157千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第1四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より1,027千円減少して13,337千円となりました。これは社債発行費の減少1,027千円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より26,703千円減少して2,047,194千円となりました。これは短期借入金の減少60,000千円、賞与引当金の減少26,160千円、未払金の増加44,481千円、1年内返済予定の長期借入金の増加17,500千円等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より50,090千円増加して1,640,649千円となりました。これは長期借入金の増加84,978千円、社債の減少17,750千円、退職給付引当金の減少10,321千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より111,842千円増加して2,304,316千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加68,492千円、その他有価証券評価差額金の増加43,420千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお業績予想につきましては、主要取引先からの受注動向等不確定要因が大きく、平成27年5月13日の「平成27年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を変更しておりません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,300,115	2,447,295
受取手形	1,546	1,189
営業未収入金	738,691	707,262
立替金	409,800	364,345
その他	41,978	62,187
貸倒引当金	△6,085	△5,013
流動資産合計	3,486,046	3,577,267
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	170,534	165,684
構築物(純額)	3,412	3,327
機械及び装置(純額)	13,869	12,862
車両運搬具(純額)	36,464	48,147
工具、器具及び備品(純額)	9,885	11,165
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	22,229	19,707
有形固定資産合計	832,578	837,078
無形固定資産		
のれん	335,172	328,189
その他	74,662	68,728
無形固定資産合計	409,834	396,918
投資その他の資産		
投資有価証券	836,448	889,606
差入保証金	96,319	96,436
その他	436,815	441,917
貸倒引当金	△255,477	△260,401
投資その他の資産合計	1,114,106	1,167,558
固定資産合計	2,356,519	2,401,555
繰延資産		
社債発行費	14,364	13,337
繰延資産合計	14,364	13,337
資産合計	5,856,931	5,992,161

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	44,784	47,625
営業未払金	528,050	515,449
短期借入金	675,000	615,000
1年内償還予定の社債	174,800	174,800
1年内返済予定の長期借入金	471,018	488,518
未払金	59,069	103,551
未払法人税等	14,502	12,233
賞与引当金	35,360	9,200
その他	71,313	80,817
流動負債合計	2,073,897	2,047,194
固定負債		
社債	488,800	471,050
長期借入金	808,500	893,478
退職給付引当金	236,567	226,246
その他	56,692	49,875
固定負債合計	1,590,559	1,640,649
負債合計	3,664,457	3,687,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,446	433,446
資本剰余金合計	747,751	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△867,620	△799,128
利益剰余金合計	△861,764	△793,272
自己株式	△10,873	△10,943
株主資本合計	2,269,512	2,337,934
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△77,038	△33,618
評価・換算差額等合計	△77,038	△33,618
純資産合計	2,192,474	2,304,316
負債純資産合計	5,856,931	5,992,161



## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業収入	1,646,834	1,616,663
営業原価	1,558,076	1,473,803
営業総利益	88,757	142,859
販売費及び一般管理費	84,411	84,844
営業利益	4,346	58,015
営業外収益		
受取利息	29	23
受取配当金	12,054	11,745
受取家賃	6,419	8,447
受取手数料	6,763	6,380
雑収入	12,391	5,023
営業外収益合計	37,656	31,620
営業外費用		
支払利息	12,661	10,331
社債発行費償却	776	1,027
貸倒引当金繰入額	903	—
支払手数料	—	5,755
雑損失	1,979	3,804
営業外費用合計	16,319	20,917
経常利益	25,683	68,719
特別利益		
固定資産売却益	2,259	1,754
投資有価証券売却益	—	16,280
特別利益合計	2,259	18,034
特別損失		
固定資産除却損	—	540
投資有価証券評価損	—	5,869
投資有価証券売却損	—	2,562
特別損失合計	—	8,972
税引前四半期純利益	27,943	77,782
法人税、住民税及び事業税	3,987	9,289
法人税等合計	3,987	9,289
四半期純利益	23,956	68,492

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。